

2019年度町田市教育委員会

第10回定例会会議録

1、開催日 2020年1月10日

2、開催場所 第三、四、五会議室

3、出席者 教 育 長 坂 本 修 一  
委 員 後 藤 良 秀  
委 員 森 山 賢 一  
委 員 八 並 清 子  
委 員 坂 上 圭 子

4、署名者 教育長

\_\_\_\_\_  
委 員

5、出席事務局職員 学校教育部長 北 澤 英 明  
生涯学習部長 中 村 哲 也  
教育総務課長 田 中 隆 志  
教育総務課担当課長 是 安 智 彦  
教育総務課担当課長 谷 勇 児  
(学校運営支援担当)  
施設課長 浅 沼 猛 夫  
施設課学校用務担当課長 小 宮 寛 幸  
学務課長 峰 岸 学  
学務課担当課長 中 溝 智 章  
保健給食課長 有 田 宏 治  
保健給食課担当課長 武 藤 正 道  
指導室長 金 木 圭 一  
(兼) 指導課長  
指導課担当課長 野 田 留 美

指導課統括指導主事	宇野賢悟
教育センター所長	林啓
教育センター統括指導主事	辻和夫
生涯学習部次長	佐藤浩子
(兼)生涯学習総務課長	
生涯学習総務課担当課長	貴志高陽
(兼)文化財係長	
生涯学習センター長	塩田一人
図書館長	近藤裕一
図書館市民文学館担当課長	中嶋真
(町田市民文学館長)	
図書館副館長	江波戸恵子
書記	大河内和歌子
書記	中野亮介
書記	瓜田円
速記士	帯刀道代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

## 6、提出議案及び結果

議案第27号	町田市教育委員会児童生徒表彰について	原案可決
議案第28号	町田市学校保健功労者の表彰及び感謝状の贈呈について	原案可決
議案第29号	町田市立自由民権資料館条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決

## 7、傍聴者数 4 名

## 8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第 10 回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は八並委員です。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、委員の皆様からご報告をお願いしたいと思います。

なお、私からは、資料がございますとおり、前回の定例会から、年末年始の休日を含みまして、期間が短かったもので、本日は特段の報告はございません。

それでは、各委員からご報告をお願いしたいと思います。

○後藤委員 今、教育長がおっしゃいましたとおり、教育委員としての特段の報告はないのですけれども、箱根駅伝での町田市出身大学生の活躍を見て、町田の教育というのを考えましたので、そのことだけ少しお話をさせていただきます。

当然大活躍されている大迫選手や関根選手を初め、町田市出身の陸上のアスリートの皆さんの活躍は大変目覚ましいものですが、今回の箱根駅伝で、ちょうど放送を聞いていたら、東京都出身の学生の方は意外と少ないんだということの後に、「町田市出身の」というお話を聞いたので、それは神戸選手のことだったんですけれども、調べてみました。町田市出身の選手は3名走りました。東京都出身で調べたところ、13名のうちの3名が町田市の選手だったのです。東京で一番多い。他のところは1人ずつぐらいでした。筑波大学で3区を走った猿橋選手、駒澤大学で9区を走った神戸選手、創価大学で10区を走った嶋津選手。嶋津選手は、目の病気のハンディを抱えながらも、区間新記録を出すという目覚ましい、大変すばらしい活躍もされました。

この様子を見て、町田市民として本当に誇らしい気持ちになったと同時に、2月2日に今度は中学生の駅伝が行われますけれども、その活躍も楽しみにしたものです。彼らもきっと中学生駅伝のときに活躍をした人たちではないのかななどと思って見ました。こういう姿を見たときに、町田市の教育が、将来にわたり、大きな成果の一つになっている。それが子どもたちの、そして大人になっての活躍につながっているんだなということを感じた次第です。

教育プランの中にもあるように、「生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する」という体力・運動能力の育成の施策は、目の前の子どもの実態だけではなくて、基礎体力や運動能力を育てていくことによって、今後発展して一層充実していくことをあらわしているんだろうというふうに感じました。当然体力だけではなくて、学力、豊かな心のバランスをしっかりと育めるように、町田市の教育委員会はその責任を果たしていくということを私自身も決意を新たにしたところです。

感想になりますが、以上です。

○森山委員 私のほうからは、主な活動状況がここに2点書いてありますが、それ以外はございませんので、本日はご報告はございません。

○八並委員 私からも活動報告はございませんが、2020年の初めに当たり、一言申し上げたいと思います。

先ほど後藤委員からもお話がありましたように、先日行われた箱根駅伝には、町田市出身の選手が3名走っていたということ、また、本日の議題の1つには、児童生徒表彰がございしますが、スポーツだけではなく、さまざまな分野で子どもたちが活躍するように、子どもたちの無限の可能性を引き出し、伸ばす教育、また、そうした子どもたちの才能を支え、応援できる社会になるよう、私も教育委員として活動していきたいと思いました。

また、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック開催の年となりました。箱根駅伝のように、日本代表選手はもとより、世界中の選手の活躍が注目されます。子どもたちはこれまでにいろいろな形でオリンピック・パラリンピックのことを学んできました。オリンピックやパラリンピアンと触れ合ったり、それぞれの競技を体験したりしてきて、東京開催のオリンピックは本当に特別なものになることと思います。

競技を観戦したり、応援したりすることはもとより、大会運営には、ボランティアを初め、多くの方が携わっていること、また、代表選手だけではなく、代表選手を目指した数多くの選ばれなかった選手がいること、そして、選ばれなくても、このように目指して頑張ったことにとっても大きな意味があること、そんなことも感じてほしいと思いました。

また、先日は、町田市名誉市民の荒谷俊治先生のご逝去の報を伺い、とても残念に、そして寂しく思いました。荒谷先生は、市内の小学校の校歌も作曲されておりまして、私の3人の子どもたちがお世話になった山崎小学校も先生の作曲された校歌でした。

30歳になる長男の入学式ですから、今から20年以上も前の話になりますが、入学式に初めて聞いた校歌は、在学している5・6年生によって明るく元気よく歌われ、最後に「やあ！」と拳を突き上げるものでした。子どもたちの元気いっぱいの「やあ！」を聞いた途端に、私はこの校歌が大好きになりました。そして、親も子どもも初めての小学校生活でしたが、入学式の校歌を聞いて、とても安心したことを覚えています。

それから、一番下の次女は、在学中に何度も校歌をピアノで弾く機会をいただいて、今は24歳になりますが、いまだに校歌を弾くことができます。今、独立したきょうだい3人が我が家にそろると、校歌を忘れないようにと時々3人で歌っております。山崎小学校

の校歌は我が家の愛唱歌の1つになりました。荒谷先生は「うたひびくまちだ」の礎を担ったお1人だと思います。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

以上です。

○坂上委員 私のほうからも特別ご報告することはございません。

○教育長 事務局も含めて、報告はよろしいでしょうか。

ただいまの報告につきまして、何かご質問などありますでしょうか。――よろしいですか。

私も年始、テレビを見ていて思ったのですが、箱根駅伝の中継の中で、アナウンサーが「町田市出身の〇〇選手です」という紹介をしてくれることは、今まで覚えがないのですが、今年も、今年もそれぞれ3名の選手にみんな「町田市出身です」という紹介があって、大変興味深く、またうれしく思った次第でございます。

また、荒谷先生については、町田市の公立小学校6校ほどの学校の校歌を作曲されておりました。お亡くなりになって大変残念でございます。心からご冥福をお祈りしたいと、私からも申し上げたいと思います。

以上で月間活動報告を終了いたします。

次に、日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第27号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明を申し上げます。

○学校教育部長 議案第27号「町田市教育委員会児童生徒表彰について」、ご説明いたします。

本件は、他の模範となる行いをした児童・生徒または芸術、文化、スポーツ等の分野で活躍し、優秀な成績をおさめた児童・生徒を、町田市教育委員会児童生徒表彰規程に基づき、表彰するものでございます。

1枚おめくりいただきまして、「児童生徒表彰 表彰候補者一覧」でございます。個人対象では76件、団体対象は6件が候補として挙げられております。

内訳といたしまして、有益な発明、工夫考案が8件、ボランティア・伝統文化の継承活動が24件、優秀な成果（スポーツ）が35件、優秀な成果（文化）が8件、その他が7件でございます。合計で82件の候補者でございます。

説明は以上となります。

○教育長 説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して、何かご質問等ございましたら願

いたします。

○**八並委員** 今年もこのように多くの児童・生徒を表彰することができることを大変うれしく思います。

お伺いしたいのは、その他の7件とございますが、具体的にはどのような内容になりますでしょうか。

○**教育総務課長** この7件につきましては、他の児童・生徒の模範となる活動を行ったということで表彰させていただいております。

具体的には、3ページ、中学校の23番の真光寺中の生徒さんにつきましては、「子どもにやさしいまち世界サミット」がドイツで行われたのですが、こちらに日本代表として参加いたしまして、その中でも、最後に参加者の代表としてスピーチを行ったということがございまして、表彰をさせていただいております。

また、4ページの34番から39番までの6名の小山中学校の生徒さんにつきましては、電車の車内で気分が悪くなって嘔吐してしまった女性がいらしたのですけれども、その嘔吐物について、自分たちで自主的に清掃を行い、駅員に報告をしたということです。後日、鉄道会社の職員が学校に赴きまして、感謝の言葉をいただいたということがございまして、こちらで表彰させていただいております。

以上です。

○**教育長** そのほかに何かございますでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第27号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第28号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明を申し上げます。

○**学校教育部長** 議案第28号「町田市学校保健功労者の表彰及び感謝状の贈呈について」、ご説明いたします。

本件は、長年にわたり、学校医等として学校保健の進展に寄与され、その功績が顕著な6名を、町田市教育委員会職員等表彰規程第2条の規定に基づき表彰するものでございます。

また、多年にわたり、学校医等として学校保健の向上に尽くされた14名に、町田市教育委員会感謝状の贈呈に関する要綱第3の規定に基づき、感謝状を贈呈するものでございます。

1枚おめくりいただきまして、上段が表彰対象者6名の方でございます。在職15年以上の方になります。中段から感謝状贈呈対象者、在職10年以上の方、14名が対象者となります。

説明は以上でございます。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して、何かございましたらお願いいたします。

○八並委員 長年にわたり、このように学校の児童・生徒の健康に携わっていただいた方がいらっしゃることを本当に感謝申し上げます。

この方々の表彰は、具体的にはいつ、どのような形で行われるのでしょうか。

○保健給食課長 こちらの名簿にございます方々につきましては、2月20日に行われます学校保健大会の中で、表彰状、感謝状の贈呈を予定してございます。

○教育長 そのほかに何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第28号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

続きまして、議案第29号を審議いたします。本件については、生涯学習部長からご説明を申し上げます。

○生涯学習部長 議案第29号「町田市立自由民権資料館条例施行規則の一部を改正する規則について」、ご説明いたします。

本件は、自由民権資料館を適正に管理運営するため、改正するものでございます。

1枚おめくりください。生涯学習部所管施設の管理運営に関する規則のうち、自由民権資料館条例施行規則に入館者の遵守事項に関する規定がなかったことから、追加するものです。

裏面をご覧ください。改正後の条文はご覧のとおりです。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長 説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第29号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、日程第3、報告事項に入ります。

本日の報告事項は3件ございます。

まず、報告事項(1)について、担当者から報告をさせていただきます。

○図書館市民文学館担当課長(町田市民文学館長) それでは、報告事項(1)『白洲正子のライフスタイル ―暮らしの遊(すさ)び』展の実施報告について」でございます。

最初に資料の訂正をお願いいたします。2枚目の(3)「パブリシティ」の3行目は「小田急百貨店町田店」が正しいので、「展」を「店」に訂正をお願いいたします。申しわけございませんでした。

それでは、報告をさせていただきます。

展覧会の開催期間は10月19日から12月22日の55日間、観覧者数は4,849人となっております。

今回の展覧会では、白洲正子のライフスタイル、好きなことを貫き、楽しい時間を探し求めた正子の暮らしぶりから、来館された方に、自分自身の生活や日々の生活の積み重ねから生まれる文化を見詰め直すきっかけ、人生を豊かにするヒントを提示することができたと考えております。

関連事業は、対談や講演会等、6つのイベントとギャラリートークを行いました。

イベントについては下の表にあるとおりでございますが、どれも応募率が大変高うございました。特に対談の3つ目の阿川佐和子さんと青柳恵介さんの対談は大変評判が高くて、応募者が定員の7倍近くという形で、広く関心を集めることができました。

また、町田市観光コンベンション協会とのコラボイベントとか、エフエムさがみの「まちだ文学の道」に私どもの学芸員が出演したり、生涯学習センターとの連携により、「3水

スマイルラウンジ」というのをポプリホールで行っているのですが、こちらのほうで私どもの担当学芸員が白洲正子の講義を行うなど、庁内外の機関と協力した事業を開催することができました。

おめくりいただきまして、(2)「資料」でございます。今回、展覧会に出させていただいた資料の多くは、旧白洲邸武相荘の全面的なご協力によりまして、白洲正子やその配偶者の白洲次郎の愛用品、約150点を展示することができました。

また、今回、初公開の資料でございますが、白洲正子の実家である樺山家から着物の十二単をお借り受けしたのですけれども、ちょうどこの展覧会開催期間中に即位礼正殿の儀がとり行われたことから、このときに使った十二単と基本的に同じようなものが使われておりますので、時宜にかなった資料になったと考えております。

(3)「パプリシティ」でございます。

まず、国際版画美術館ではちょうど同じ期間に浮世絵の美人画の展覧会を行っていたのですが、国際版画美術館と連携いたしまして、文学館と美術館、それぞれのチケットの相互割引とか、あと、着物を着て来られた方の割引を初めて実施して、それぞれの回遊性を高めております。

また、小田急百貨店でパネル展示を行ったほか、ツーリストギャラリー、啓文堂の鶴川店でPRコーナーを設けていただいたり、忠生市民センターでも出張の展示を行っております。

また、小田急線の町田駅のところにもポスターを掲示させていただくことができました。

あと、雑誌とか、新聞とか、地域のフリーペーパーに多く紹介の記事を載せていただきました。また、出版社の小学館とか、武相荘のほうのSNSやホームページを通じて、こちらの展覧会の情報を発信することもできました。

最後に、来館者のアンケートでございます。ただいま集計中ですが、一応枚数としては2,830枚のアンケートを回収しております。これは回収率58%という形になりまして、かなり高い形での回収をすることができました。

ここで幾つかアンケートのお答えを紹介させていただいているのですが、特に1人目の方の「暮らしの中の生き様を見つめ直す」とか、2人目の方の「自分の中に『心の軸』をもって生きるすばらしさ」とか、最後の方の「自分も素敵な大人になるために大切に時間を使おうと思った」など、私どもの展覧会の目的でございます、自分の生活を見詰め直して人生を豊かにするきっかけというのを提供することができたと思っております。

報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまのご報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（２）について、担当者からご報告をいたします。

○**教育総務課担当課長** それでは、報告事項（２）「町田市立学校適正規模・適正配置等審議会の審議経過について」、ご説明いたします。

審議会の審議経過につきましては、昨年９月の教育委員会定例会で、１回目の審議会の開催結果についてご報告しておりますが、昨年１２月２０日に開催しました第５回の審議会をもって、予定されていた論点の審議が終わりましたので、本日はこれまでの審議経過についてご報告いたします。

この審議会は、未来の子どもたちの立場に立って審議すること、また、昨年６月に実施した町田市立学校適正規模・適正配置に関するアンケート調査の結果を尊重して審議することを共通認識としまして、８月２７日の第１回審議会から審議を重ねてまいりました。

表には開催日程と審議した議題を記載しております。第１回では、現状と課題の共有、第２回、第３回を通じまして、適正規模の基本的な考え方について審議をいたしました。第４回、第５回では、適正配置の基本的な考え方について審議をいたしました。

この審議会の出した答申につきましては、次回、２月の教育委員会定例会で報告をする予定になっております。

報告は以上になります。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（３）について、担当者からご報告をいたします。

○**保健給食課長** 報告事項（３）「第１２期町田市学校給食問題協議会の協議経過について」、ご報告をいたします。

町田市教育委員会では、町田市の学校給食における諸課題について協議をし、よりよい学校給食事業の実現を目指すことを目的としまして、本協議会を開催してきた経過がございます。

今回の第１２期につきましては、２０１９年１月に設置をいたしまして、２つのテーマを掲げ

て諮問をいたしました。1つ目が中学校給食について、2つ目が小学校給食の衛生管理についてということでございます。

中学校給食におきましては、その利用促進に向けた協議をしていただき、また、小学校給食の衛生管理については、主に食器洗浄に係る改善方法について協議を行うということで進めていただいております。

2019年1月の第1回から第4回までは、主に中学校給食の改善に向けた協議を、また、第5回から現在に至るまでは、小学校給食の食器洗浄に係る改善方法について主に協議を進めていただいております。

予定では、来月、2月の中旬に全ての協議を終了し、答申をいただく予定になっております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様、あるいは事務局のほうから何かございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で町田市教育委員会第10回定例会を閉会いたします。

午前10時25分閉会